

セレノグラフィカ

Selenographica
(隅地 茉歩 + 阿比留 修一)

Selenography(月面地理学)+icaで(月究学派)の意。「身体と心に届くダンス」をモットーとして、関西を拠点に国内外、屋内外を問わず幅広く活動を展開するダンスカンパニー。緻密な身体操作から繰り出されるその不思議で愉快なダンスは、多くの世代に受け入れられている。隅地茉歩は「踊るぬいぐるみ」、阿比留修一は「かかとの無い男」とあだ名され、公演やワークショップを含め、北海道から沖縄まで全国各地へ遠征の日々を送る。また、800を超える教育機関へのアウトリーチも行い、幼稚園や小学校では「まほさん、あびちゃん」として人気。

所属カンパニー セレノグラフィカ
ホームページ <http://www.selenographica.net>
連絡先(担当) 阿比留 修一(技術面は岩村原太)
E-mail info@selenographica.net



Photo:平野愛

活動歴・受賞歴

活動歴

【主な上演歴】

(1997年) カンパニー結成『無伴奏の月』上演(京都市)
(2006年) TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005受賞者
公演(東京都)
(2006~08年)『それをすると』/『樹下の双魚』欧州、豪州、
韓国ツアー(リヨン、パリ、ロンドン、パース、釜山)
(2015年)『ひびきあう〜音と身体で感じるみずかみかずよの
世界』(北九州市)
(2017年) 結成20周年記念作品『とこしえに』発表(上田市)
(2019年)『ダンス×音楽 実験的音楽空間〜 REFINE〜音も身体
も』(北九州市)
(2021年) 結成24周年記念作品『無言歌〜カラダとウタウ〜』発表
(北九州市)
(2024年) 公共ホール創造ネットワークモデル事業「音楽とダン

スが出会う夢の旅〜響きの先のあしたへ〜(和歌山県)

【継続中のプロジェクト】

(2014年〜)『レインボードロップスプロジェクト』(北九州市)
(2015年〜)『夜のこぼれプロジェクト』(京都市、伊丹市)
(2020年〜) セレノグラフィカ『語る』ダンスプロジェクト
身体のことば〜振付家の視点から(全国各地)

【ダン活、ダン活支援歴】

ダン活のべ12カ所(奈良市、山県市、富田林市、坂井市、上川郡鷹
栖町、笛吹市、名寄市、西宮市、鶴岡市、徳島市)
ダン活支援のべ15カ所(坂井市、上川郡鷹栖町、茅野市、山県市、北広
島市、春日井市、舞鶴市、東松山市、近江八幡市、清水市、西宮市、鶴岡市)

受賞歴

(1996年) 阿比留修一平成8年度大阪府芸術劇場奨励新人に認定。
(2005年) 隅地茉歩TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005
「次代を担う振付家賞」(グランプリ)受賞。

ワークショップ歴

○大阪府障がい者オープンカレッジ・ダンスコース講師(堺市/2006~11年)
○(一財)地域創造ステージラボ講師(宇都宮市/2012年、札幌市/2015年、
上田市/2016年、高知市/2017年、横浜、大津市/2018年、
いわき市/2019年、大分市/2022年、川崎市、札幌市/2023年)
○(一財)地域創造ステージラボコーディネーター(岡山市/2024年)
○パフォーマンススキッツ・トーキョー(東京都/2012年~継続中)
○キタQアーティストふれあいプログラム(北九州市/2012年~継続中)
○文化芸術による子供育成推進事業〜(全国各地/2012年~継続中)
○こちかぜキッズダンス(京都市/2014年~継続中)
○しぶんみがきダンス(京都市/2016年~継続中)
○障害者による文化芸術活動推進事業(東京都、さいたま市/2019年
~2023年)
○少年院「東日本少年矯正医療・教育センター」WS(昭島市/2022年
~継続中)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①幼稚園、保育所で

最初にセレノグラフィカのダンスを見てもらい、続いて3種のダンス遊びを体験。最後には皆で仲良く汗をかき、愉快地踊るプログラムです。

②小学校(特別支援学級を含む)、中学校で

こちらも始めにセレノグラフィカのダンスを見てもらってからスタート。ダンスに関心のある子も無い子も、ダンスが得意な子も苦手な子も、一緒に身体を動かして、その子ならではの楽しさを発見できるプログラムです。

③教員対象で

ダンスの授業やクラス運営にも応用の効く様々なボディワークを実践し、質疑応答の時間も設けて、先生たちのダンスに対する率直な声に応えていくプログラムです。

④福祉施設、高齢者施設で

まずは短くセレノグラフィカのダンスを披露し、その後ゆっくり目に負担の少ないメニューを選んで進行します。参加者のコンディションに繊細に対応し、踊ることの楽しさに触れていただくプログラムです。

▶参加適性人数:20~40名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間:1コマ90分として1コマから(相談可)▶必要機材:Bluetoothスピーカー、ワイヤレスマイク等

公募ワークショップ

①ほくしてみようワークショップ

少し丁寧にストレッチの時間を取り、参加者が自分の身体の癖に気づいていく中で、身体感覚をじっくりと高めていけるワークショップです。

②踊ってみようワークショップ

まずは歩くという身近なことから始め、一人で、ペアで、あるいはグループでというようにダンスの状態を変化させ、踊ることの様々な楽しさを実感することのできるワークショップです。

③創ってみようワークショップ

クリエイションに重点をおいて創作のための手がかりをいくつか提示し、それを頼りに、ダンスを創ることの喜びを味わうことのできるワークショップです。成果を互いに発表し、意見交換も行います。

▶対象:3歳以上、経験不問 ▶参加適性人数:20名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間:1コマ120分として1コマから(相談可)▶必要機材:Bluetoothスピーカー、ワイヤレスマイク等

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『無言歌〜カラダとウタウ〜』

結成24周年に創作した記念作品。北九州芸術劇場小劇場で初演し、その後上田と上演を続けているセレノグラフィカの最新レパートリー。

今を感じさせるいくつかの小道具と二面舞台。二人の身体の動きがまるで複数の旋律のように響き合う、セレノグラフィカの身体表現のひとつの完成形。

▶上演時間:80分

②『とこしえに』

結成20周年の節目に創作した記念作品。サントミュージゼ(長野県上田市交流文化芸術センター)で初演し、その後神戸、長崎と上演を続けているセレノグラフィカのレパートリー。男と女の身体が一つずつという、制約があるようでは無限の可能性を孕んでいることそのものを踊る渾身のデュエット。

▶上演時間:70分

※上記すべて使用する会場、床の状態、使用機材、スタッフ等については要相談。

市民参加作品

ご参加の方々の世代や男女比、志向性などに応じて構成や演出を考え、その地域の特色ある身体性が豊かに反映される創作を行っています。これに伴い、作品タイトルもその都度オリジナルのものを付けています。(例)「遠い放課後」「おやつくらいおいしいダンスの話」「幸せについて、踊ってもいいよ」など)また、市民参加公演の形態は基本的にホールとの話し合いでベストの形を選択しています。参加(出演)人数・回数、上演環境などは応相談。その他、現地の演奏家や美術家などのコラボレーションも可能です。